

共通問題

問1 ～ 問27 の解答は、全て の①～④から一つ選び、その番号を「OCR解答用紙」にマークしなさい。

問1 次の各文は、「教育基本法」（平成18年法律第120号）の条文の一部を抜粋したものである。文中の（ ア ）～（ オ ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

第三条 国民一人一人が、自己の（ ア ）を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を（ イ ）ことのできる社会の実現が図られなければならない。

第十四条 良識ある（ ウ ）として必要な政治的（ エ ）は、教育上尊重されなければならない。

2 法律に定める学校は、特定の（ オ ）を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	人格	広く活用する	成人	知識	政治家
②	感性	広く活用する	公民	知識	政党
③	人格	適切に生かす	公民	教養	政党
④	感性	適切に生かす	成人	教養	政治家

example

問10 次の文は，市場経済と価格の決まり方について述べたものである。文中の（ ア ）～（ オ ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし，同じ記号には同じ語句が入る。

商品の価格は，消費者の買う量，すなわち（ ア ）と生産者の売る量，すなわち（ イ ）との関係で変化する。
（ ア ）が（ イ ）を上回っている場合には価格が（ ウ ）し，逆の場合には価格が（ エ ）する。（ ア ）と（ イ ）が一致したとき，価格の変化は収まり，このときの価格を（ オ ）という。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	供給量	需要量	上昇	下落	独占価格
②	需要量	供給量	下落	上昇	均衡価格
③	供給量	需要量	下落	上昇	独占価格
④	需要量	供給量	上昇	下落	均衡価格

example

問11 次の文は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 各教科」「第3節 算数」「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

3 数学的活動の取組においては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 数学的活動は、基礎的・基本的な知識及び技能を（ア）に身に付けたり、（イ）を高めたり、算数を学ぶことの（ウ）や意義を実感したりするために、重要な役割を果たすものであることから、各学年の内容の「A（エ）」、「B図形」、「C測定」、「C（オ）」及び「Dデータの活用」に示す事項については、数学的活動を通して指導するようにすること。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	主体的	数学的な見方・考え方	楽しさ	数と式	変化と関係
②	確実	思考力、判断力、表現力等	楽しさ	数と計算	変化と関係
③	主体的	思考力、判断力、表現力等	大切さ	数と式	数量関係
④	確実	数学的な見方・考え方	大切さ	数と計算	数量関係

example

問14 次の文は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 各教科」「第4節 理科」「第1 目標」を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

自然に（ア），理科の見方・考え方を働かせ，（イ）をもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象についての問題を（ウ）に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察，実験などを行い，（エ）を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

	ア	イ	ウ	エ
①	触れ	興味・関心	論理的	探究する力
②	親しみ	見通し	科学的	問題解決の力
③	親しみ	興味・関心	科学的	探究する力
④	触れ	見通し	論理的	問題解決の力

問15 次のア～エの各文は，水溶液の濃さ（質量パーセント濃度）について説明したものである。正しく説明しているものの組合せを選びなさい。

ア 水100gに食塩5gを完全に溶かすと，5%の食塩水になる。

イ 10%の食塩水100gと，15%の食塩水100gを全て混ぜ合わせると，12.5%の食塩水になる。

ウ 20%の硝酸カリウム水溶液100gに水100gを加えると，10%の硝酸カリウム水溶液になる。

エ 10%の硝酸カリウム水溶液100gに硝酸カリウム10gを加えて完全に溶かすと，20%の硝酸カリウム水溶液になる。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ① アとウ | ② アとエ | ③ イとウ | ④ イとエ |
|-------|-------|-------|-------|

example

問18 次のア～エの各文は、図画工作科で使う道具や材料について述べたものである。その内容が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

ア 粘土と粘土を接着するときは、へらなどで粘土の接着面に傷をつけ、木工ボンドを水で溶いた「どべ」を接着面に塗り、粘土同士を押し付けるようにして接着するよう指導する。

イ 紙やすりは、番号が大きくなるにしたがってだんだん目が細くなるため、木の表面などを磨くときは、まず、番号の大きな紙やすりを使って磨き、だんだんと番号の小さな紙やすりで磨くように指導する。

ウ ドライバーを使ってねじを回してしめるときは、ねじを入れたい場所にきりなどであらかじめ穴をあけておき、ドライバーの柄をしっかりと握って下向きに押し込みながら、反時計回りに回してしめるように指導する。

エ グルーガンを使って接着するときは、熱くなっているため接着剤が出てくるノズルや溶けた接着剤に直接手を触れないようにし、使わない時は電源を切っておくように指導する。

	ア	イ	ウ	エ
①	×	○	×	×
②	○	×	○	×
③	×	○	○	○
④	×	×	×	○

問21 次の文は、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引（三訂版）」（平成26年3月文部科学省）「第4章 水泳指導と安全」「第2節 水泳の安全指導」「3 人数確認」の一部を抜粋したものである。文中の（ ア ）～（ エ ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

事故を未然に防ぎ、事故を早期に発見するには、人数確認が重要な手だてとなります。人数確認は人数の確認だけでなく、顔色、（ ア ）などから健康状態を観察するという大切なねらいがあります。入水前、指導の展開の途中、退水後のそれぞれにおいて敏速かつ（ イ ）人数確認を実施する必要があります。

(1) 人数確認の方法

人数確認には様々な方法があり、水泳ではバディシステムによる方法が一般的ですが、それだけに頼るのではなく、入水前、退水後に出席簿や班別の名簿などを用いての点呼を併用することが望まれます。

人数確認は体育の授業やその他の学校行事においても必要なので、児童生徒に人数確認の重要性を認識させ、敏速にして（ イ ）人数確認ができるようにしておくことが大切です。

(2) バディシステム

バディシステムは、二人一組をつくり、互いに相手の安全を確かめさせる方法で、事故防止のみならず、（ ウ ）を高めるための手段としても効果的です。

例えば、教師の笛の合図と「バディ」という号令があったとき、互いに片手をつなぎ合わせて挙げさせ点呼をとる方法があります。バディシステムによる場合、単に手を組ませることにねらいがあるのではなく、（ エ ）を数えること、その数を記憶するか記録しておくこと、表情や（ ア ）を観察することなどがが必要です。

また、児童生徒相互に相手の表情、（ ア ）について観察し異常があったら直ちに指導者に連絡するように指導します。

	ア	イ	ウ	エ
①	話し方	正確な	泳力	組数
②	動作	正確な	泳力	出席者数
③	動作	正確な	学習効果	組数
④	話し方	効率的な	学習効果	出席者数

example

問22 次の文は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第4章 外国語活動」「第2 各言語の目標及び内容等」「英語」「2 内容」〔第3学年及び第4学年〕の一部を抜粋したものである。文中の（ a ）～（ e ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴等に関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を（ a ）に身に付けることができるよう指導する。

ア 言語を用いて（ b ）的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。

イ 日本と外国の言語や（ c ）について理解すること。

（ア） 英語の音声や（ d ）などに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

（イ） 日本と外国との生活や（ e ），行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。

（ウ） 異なる（ c ）をもつ人々との交流などを体験し、（ c ）等に対する理解を深めること。

	a	b	c	d	e
①	一体的	実践	文化	表現	伝統
②	体験的	主体	文化	リズム	習慣
③	一体的	実践	歴史	リズム	伝統
④	体験的	主体	歴史	表現	習慣

問25 次の文は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第6章 特別活動」「第2 各活動・学校行事の目標及び内容」「学級活動」「2 内容」の一部を抜粋したものである。文中の（ a ）～（ d ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて（ a ）をよりよくしようとする。

イ （ b ）の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、（ c ）の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、（ d ）に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

	a	b	c	d
①	日常生活	役割意識	集団	協働的
②	日常生活	社会参画意識	社会	自主的
③	学校生活	役割意識	社会	自主的
④	学校生活	社会参画意識	集団	自主的